

ライブラリー情報

No.41 Library Information February 2016 愛知江南短期大学図書館 発行

目次

怖い話を思い出す	/	こども健康学科 保育専攻長	柴田 昇
お前は既に・・・怖がっている・・・のか？	/	図書館長	大島康司
学生へのインタビュー 私の怖い体験			
本館所蔵の怖い映画の紹介			
図書館の季節の壁面装飾			
ゴスペルコンサート in the Library			
貸出統計 (平成25年12月27日現在)			
電子出版とオンデマンド	/	司書	山形容子

怖い話を思い出す

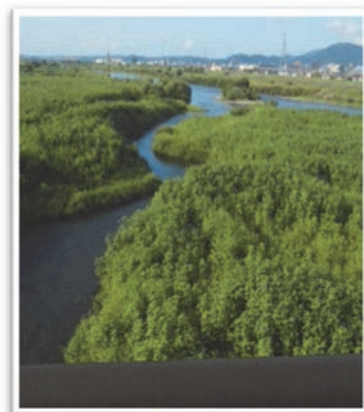
こども健康学科
保育専攻長
柴田 昇

「怖い話」について書いてほしいとのご依頼をいただきましたが、かなり困っています。ホラー映画は怖いのでほとんど観ませんし、怪談も苦手です。怖い人とは付き合いませんし、現実に怖い体験をするのもイヤで危険な香りのする場所にはできる限り近づかないように生きてきました。怖がりな怖い場面を避けるので、必然的に怖い体験は怖がりではない人よりも少なくなるのでしょう。

そんなわけで何を書くかどうしても思いつきません。やむを得ず、今書いても差し支えない範囲で、自分の出合ったわずかな怖い体験を書くことにしました。

1 川で流される

小学校一年生のときだったと思いますが、近所の川で一人で遊んでいて、1km以上流されました。普通に言えば溺れかけたこととなります。必死に岸までたどり着きましたが、既に日は沈みかけておりたどり着いた場所もどこだかよくわからず、途方に暮れたのを覚えています。結局一人で自宅までたどりついたので、僕がそんなことになっていたことを家族は未だに知りません。



※このあたりで溺れました。

2 張り紙

学生時代、下宿生活を始めたばかりのことです。4～5月頃のこと、ある日帰宅すると、アパートの自室の扉に張り紙がしてあり、そこには「柴田さん 明日遊びに行かへんか 連絡するわ ○○○○」と書いてありました。僕はその○○○○という名前にまったく記憶がなく、何だかわからず放っておいたのですが、それから一週間後、今度は「なかなか会えんな 遊びに行こうや ○○○○」という張り紙です。さすがに怖くなり、外出時には鍵をかけるようになりました。帰宅時もアパート周辺を遠くからしばらく監視してから部屋に帰るなど、しばらくはまるで自分が不審者のような行動を取っていましたが、張り紙はそれが最後でした。あれはなんだったのか、今でもわかりません。

3 蚊取り線香

学生時代、旅行はほとんど野宿でした。金沢でのこと、お城の近くの公園で野宿し、夏場だったので蚊取り線香を二つ、頭の上と足元に置いて眠りました。そして朝起きたら、頭の上の蚊取り線香がなくなっていました。盗まれるようなものではないし、自分の腕でもぶつかって吹っ飛んだのかとも思いましたが、周りにそれらしいものは見当たりません。これも未だに真相はわかりませんが、もし誰かに盗られたのだとすればその人物は熟睡している僕に危害を加えることも当然できたわけで、野宿は危険だなというのがその時に得た教訓です。

怖いのかどうかよくわからない話ばかりで恐縮ですがお許しください。普段は思い出すこともない記憶を掘り起こす作業は、意外に味わい深いものでありました。オチ等は特にありません。では失礼。

お前は既に・・・怖がっている・・・のか？

図書館長
大島 康司

「マトリックス」という映画をご存知でしょうか。1999年に日本で公開されたそうなので、映画館で見たという人は少ないかもしれません。アカデミー賞を幾つか獲得し、この映画を監督したウォシャウスキー姉弟の名声を一気に押し上げた作品です。この映画の中では、世界は機械に支配されていて、人類はその機械に電気を供給するためのマトリックスと呼ばれる発電機として存在しています。その事実を知らされた主人公が、マトリックスから逃亡し、同じように逃亡した仲間と一緒に機械と戦うという物語になっています。マトリックスの中で人類は体に繋がれたケーブルを使って、普通に生活を送っている夢を見ているような状態で管理されています。マトリックスにつながれたまま、普通に生まれ、生活し、やがて死んでいくという現実と変わらない人生を、頭の中だけですが、送ることができます。このような現実には存在しない感覚などについて「仮想現実」という研究が進められています。マトリックスのように脳を直接操作して存在しない現実のような情報を送ることができれば、脳からは現実か仮想かを区別できないと考えられています。このまま研究が進んでいけば、そのようなことができるようになるはずですよ。

マトリックスでは人類に仮想の人生を与えるという怖い話ですが、「シミュレーション仮説」と呼ばれる別の怖い話もあります。シミュレーションというのは、実際の出来事が起こる前に予め何が起こるかを確認したりするようなことです。計算したり、実験したりして、シミュレーションします。地球上の様々なところでいろいろな種類のたくさんのシミュレーションが現在も実行されています。

シミュレーション仮説は、ざっくりと説明すると以下のような感じです。「宇宙には地球人よりもはるかに発達した知的生命が数え切れないほどいて、その知的生命は信じられないほどたくさんのシミュレーションを実行するだろう。その中には人工的な生命を育てるようなシミュレーションもあるだろう。さらに、その人工的な生命自体がシミュレーションすることもあるだろう。その数はおそらく宇宙に実在する知的生命の数よりもはるかに多くなるに違いない。そうすると地球人という知的生命が、実在する知的生命であるかシミュレーションの中の人工的な知的生命であるかを考えると、確率的にはシミュレーションの中であるという結果になるだろう。」というものです。シミュレーションを実行している知的生命がポチッと電源（のようなもの）を切れば地球人は綺麗さっぱり無くなってしまうということです。

最近、人工知能の危険性を指摘するニュースがありました。人工知能の研究が進み、やがて人類の知能を超えると、何が起こるか分からないというようなものです。人工知能が地球人をマトリックスのように使う可能性もあるでしょう。地球人がシミュレーションに過ぎない可能性も否定できません。シミュレーションである上に発電機として使われるとなると、シミュレーションを実行している偉い知的生命に文句の一つでも言いたくなりそうです。しかし、シミュレーションを実行している知的生命も・・・ソモソモ、ワレワレハジツザイスルノカナ・・・

学生へのインタビュー

〈 私の怖い体験 〉

今号の図書館だよりでは「怖い話」をテーマにすることになりました。1月下旬頃に図書館に来ていた学生の皆さんに「怖かった」「これは怖い」と思った体験を簡単に書いていただきました。「それは怖い」と同感してしまう色々な体験を教えてくださいました。

保育1年 女子

テレビで怖い話を見た後にトイレに行くと、トイレの窓から誰かがのぞいているのではないかと思い、すぐ早くトイレを済ませて部屋に戻る。

保育1年 女子

1人で留守番中に物音がするととても怖いです。

保育1年 男子

マンガを読んでから寝たら、マンガのお化けが夢に出てきて怖かった。

保育1年 女子

自宅から車で30分位の所に住んでいる、インターネットの人気サイトの配信者が、女性リスナーに会って何人も強姦や恐喝をし、さらにリベンジポルノをしていると聞き恐怖を感じました。現在、被害者の人たちが警察に被害届を出して支援者と対策中だそうです。

保育2年 女子

今のバイト先にお化けが出ます。お店はいつも 12 時に閉店しますが、閉店後に店内の呼出ボタンが鳴り響き、色々な怪奇現象が起きます。

保育1年 女子

その日は家族がみんな出かけていた。私がお風呂に入っていたら、家のドアをドンドンたたく音がした。無視してお風呂に入っていたが、長い間ずっとドンドンとたたく音が止まなかった。とても怖くなって、急いでお風呂から上がって服を着た。窓から逃げようかどうしようかと思ったら、「家に入れてくれー」と外から大きな声がした。ドアをたたき続けていたのは、カギを忘れて家に入れなくなった弟だった。

保育1年 女子

自宅の階段で 2 階から落ちたこと。落ちた時は痛みを感じなかった。(後から痛くなったけど)落ちていくときはまるで時間が止まっているようだった。

保育2年 男子

「親知らず」を抜いたときです。麻酔をしているので痛みはないのですが、歯を抜くときにバキバキ音が鳴り響いて、頭蓋骨がわれるんじゃないかと思いました。

保育2年 女子

友達の家で遊んでいて、2 階にあるその友達の部屋で私は眠ってしまいました。友達は庭で他の子と遊んでいました。誰かが私のそばで、「A ちゃん」と私の名前を呼んだので、「はい」と返事をしました。その時、私は気が付きました。家の中にいるのが私だけだったことに。

栄養2年 男子

車で学校に来たとき、交差点の所で運転していた車がスリップした。一瞬、「死んだ」と思った。でも少し滑っただけで止まって助かった。晴れた日だったけど、交差点の所が日陰になっていて道路が凍っていた。

栄養2年 男子

自分たちの世代がもらえる年金額は減っているのに、払わされる。若者が挑戦できる場もあててほしい。

保育2年 女子

自転車で帰宅中、街灯のないところで、あやうく他の人がのっている自転車に接触しそうになりました。

保育1年 男子

朝、金縛りにあいました。足元にネコが寝ていて萌えた。

保育1年 女子

朝起きた。寝坊した。遅刻した。実習なのに。

保育1年 女子

朝起きた。時計を見たら 9 時半だった。・・・仮面ライダーが。

保育1年 女子

ピアノの単位を落としそうな今。

保育2年 女子

寝ていた妹が急に起きて、立ち上がって何かぶつぶつ言って再び寝た。怖かった。(寝言?)

栄養1年 女子

『白夜行』 東野圭吾著 ドラマより小説の方が好きです。一番怖いのは人間だと強く感じた作品です。

栄養1年 女子

映画『靈幻道士』 小学生の頃に父親の影響で見えていました。キョンシーシリーズが大好きです。今見ればコメディ要素も多いですが、当時は本当に怖かったです。

栄養1年 女子

『贖罪』 湊かなえ

1人の少女が殺される事により、様々な人の人生が狂い始める様にとってもゾッとしました。

栄養1年 女子

『羊たちの沈黙』1991年公開映画(アメリカ) アメリカ各地で若い女性が殺害され、皮膚をはがされるという連続猟奇殺人事件が発生する。FBIアカデミーの実習生が事件解決のために立ち向かう。

本館所蔵の映画の紹介 怖い映画

★ 学生からのお勧めホラー映画 「超怖い」そうです。

「ミラーズ」 アレクサンドル・アジャ監督 2008年

火災で廃墟になったデパートの怪奇現象。

「死霊館」 ジェームズ・ワン監督 2013年

悪霊達のいる家に引っ越してきた家族。

「永遠のこどもたち」 ギレルモ・デル・トロ監督 2007年

かつては孤児院だった施設に子供たちの霊が現れる。母の愛の深さに感動。

★ 学生の定番人気、怖い映画

「チャイルド・プレイ」 ジャック・ベンダー監督 邪悪な人形チャッキー

「バイオハザード」 ポール・アンダーソン監督 生物兵器

「ジョーズ」 スティーブン・スピルバーグ監督 巨大なサメの恐怖

「呪怨」 清水崇 監督 2003年 奥菜恵主演

★ スティーヴン・キング原作の怖い映画 映画史に残る名作

「キャリー」 ブライアン・デ・パルマ監督 1976年 シシー・スペイセク主演

超能力のある内気な少女が学校で陰湿にいじめられ、強烈な怒りで超能力が大爆発する。

「グリーン・マイル」 フランク・ダラボン監督 1999年 トム・ハンクス主演

1930年代、アメリカの刑務所。死刑囚として来た黒人の大男をめぐる不思議で残酷な物語。

「シャイニング」 スタンリー・キューブリック監督 1980年 ジャック・ニコルソン主演

雪山のホテルの管理人が精神に異常をきたし、家族を殺そうと斧を持って追いかける恐怖映画。

図書館の壁面装飾

2014年12月から図書館内のガラス壁面を切り絵で彩っています。とても美しく出来上がり、学生や来館者の方々に驚いていただけました。



2015 夏～
「銀河鉄道の夜」より
「琴座・白鳥座・天の川」

天の川の部分がとても手間がかかりました。
小指の先ほどに小さく切った銀紙を、
仕事の合間に一日20枚ずつ貼っていき、
3ヶ月くらいかかりました。



「銀河鉄道の夜」より
「南十字星」



「銀河鉄道の夜」より 「射手座・さそり座・ケンタウルス座」

絵&制作

Yoko Yamagata



2014 冬
「雪の季節」



2015 梅雨
「雨の季節」



2015年度の図書館のイベント — ゴスペルコンサート in the Library —

昨年12月に図書館内でコンサートを開催しました。閲覧席の机と椅子を移動して作った会場で、本学オープンカレッジでゴスペルの講座をご指導いただいている江崎理子さんと合唱団の皆さんがゴスペルの曲やビートルズの「ヘイ・ジュード」 ベートーベンの「歓喜の歌」などを披露してくださいました。すてきなクリスマスコンサートになりました。



平成27年度 貸出統計 冊数 (4月1日 ~ 12月31日)

コース・専攻	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
子ども健康学科 栄養専攻 1年	43	1	38	13	9	1	1	0	5	3	114
子ども健康学科 栄養専攻 2年	5	9	33	3	7	6	11	5	8	3	90
こども健康学科 保育専攻 1年	83	24	225	26	5	3	29	18	12	93	518
こども健康学科 保育専攻 2年	15	135	38	18	28	37	23	18	25	12	349
こども健康学科 保育専攻長期 1年	13	78	72	13	10	0	11	18	18	11	244
こども健康学科 保育専攻長期 2年	6	27	57	25	7	5	8	17	22	49	223
現代幼児学科長期履修 3年	14	78	0	5	6	19	4	1	4	0	131
合 計	179	352	463	103	72	71	87	77	94	171	1669

電子出版とオンデマンド 山形容子

電子出版が活用されるようになった昨今。一昨年前、私は自費出版で「小さな星」という絵本を出版しましたので、その全ページを CANON のサイトで無料公開しました。そのサイトでは毎月1冊の本が CANON のお勧めとして紹介されていますが、今年の5月に「小さな星」が選ばれました。とても嬉しかったです。下記に掲載されていますので、よろしかったらどうぞご覧下さい。

- CANON 5月の1冊 <http://hnt.wpb.imagegateway.net/hontono/20150526/1394>
- 英語・日本語版 「小さな星」 <https://wpb.imagegateway.net/gallery/book/9868559822>
- ドイツ語版 「Kleiner Stern」 鐘の音 <https://wpb.imagegateway.net/gallery/book/8407471427>
- ドイツ語・日本語版 森の音 <https://wpb.imagegateway.net/gallery/book/6749615201>

これまで友人に教える程度で特に何かお知らせすることもしていませんでしたが、閲覧者の通算の数が2016年2月26日現在で2463名となりました。電子出版やオンデマンドが持つ色々な可能性を感じました。